

デジタルゲームおよびレーティングに関する
保護者の実態に関する調査

2019年6月30日

お茶の水女子大学 社会心理学研究室
ゲームレーティング研究会
代表 坂元 章

はじめに

本報告書は、日本学術振興会科学研究費基盤研究B「テレビゲームにおける暴力シーンの影響を避ける適切なレーティングに関する研究」(研究代表者:坂元章、課題番号:16H03727)の助成を受けて実施した調査研究の一つについて単純集計結果を公開するためのものである。

本調査は、平成29年2月に行われ、就学前(3歳以降)から高校生までの子どもを持つ保護者1700名を対象として、デジタルゲームやそのレーティング制度に対する意識・知識や、家庭内でのデジタルゲームの利用状況や教育方針等を調べている。

本調査で得られたデータを分析して、すでにいくつかの論文投稿や学会発表を行っているが、ここでは基本的にそれぞれのテーマに応じた統計分析結果が報告され、その単純集計結果の報告には限界がある。

しかしながら、本調査の単純集計結果は、デジタルゲームに関する家庭における実態を明らかにするものであり、当該分野の関係者の活動にとって益するところがあると考え、このたび、ウェブサイトを利用して公開することとした。

本報告書には3つの章があるが、第1章の「調査の目的・方法」は堀内由樹子氏、第2章の「デジタルゲームやレーティングに対する意識や知識に関する調査」は倉津美紗子氏、第3章の「子どものゲーム利用に関する家庭でのルールや教育方針に関する調査」は鄭姝氏の執筆によるものである。なお、これらの章の他、報告書の終わり部分に、付録(調査票詳細)を添付している。

本報告書について注意点が3つある。

1) 本調査研究には2つの本調査(調査Aと調査B)がある。両者に共通する項目があるが、両者のサンプルの性質が異なっているため、調査Aと調査Bのそれぞれで、単純結果が示されている。共通している項目がどれであるかについては、第1章の図1で一望できる。

2) 各章は執筆者が異なっており、そのレイアウトなどに若干の違いがあるが、混乱を招くものではないと思われ、そのまま掲載している。

3) 報告書中に、AQ10、BQ5-2などの記号が見られるが、これは、調査票中に記載されている項目番号に対応している。例えば、BQ5-2は、調査Bの調査票における項目5-2を指している。

なお、次ページから、研究メンバーと、本調査のデータに基づいてこれまでに発表してきた論文と学会発表の書誌情報を示す。

お茶の水女子大学
坂元 章

研究メンバー

坂元 章（お茶の水女子大学） 代表
佐々木 輝美（獨協大学）
渋谷 明子（創価大学）
七海 陽（相模女子大学）
堀内 由樹子（お茶の水女子大学） 第1章執筆
松尾 由美（関東短期大学）
田島 祥（東海大学）
寺本 水羽（お茶の水女子大学）
倉津 美紗子（お茶の水女子大学） 第2章執筆
鄭 姝（お茶の水女子大学） 第3章執筆

論文および学会発表

- 堀内由樹子・田島祥・松尾由美・寺本水羽・鄭姝・倉津美紗子・鈴木佳苗・渋谷明子・坂元章（2018）子どものゲーム利用に対する親介入手動の実態調査—2011年と2017年調査の比較— シミュレーション&ゲーミング, 28(1), 24-32.
- 田島祥・堀内由樹子・寺本水羽・松尾由美・倉津美紗子・鄭姝・坂元章（2018）. ゲームをきっかけとした他者との交流に対する保護者の態度と属性との関連 シミュレーション&ゲーミング, 28(1), 33-42.
- 堀内由樹子・田島祥・寺本水羽・松尾由美・坂元章（2017）. 子どものデジタルゲーム利用に対する保護者の意識、介入手動(1) —親と子のデジタルゲームの利用と親のゲームの影響に対する認識— 日本応用心理学会第84回大会発表論文集, 22.
- 堀内由樹子・寺本水羽・松尾由美・田島祥・坂元章(2017). 子どものデジタルゲーム利用に対する保護者の意識、介入手動(2) —親のゲームレーティング制度に対する意識— 日本パーソナリティ心理学会第26回大会発表論文集, 95.
- 寺本水羽・堀内由樹子・松尾由美・田島祥・坂元章(2017). 子どものデジタルゲーム利用に対する保護者の意識、介入手動(3) —養育的介入手動における保護者と子どもの男女差— 日本パーソナリティ心理学会第26回大会発表論文集, 96.
- 松尾由美・堀内由樹子・寺本水羽・田島祥・坂元章(2017). 子どものデジタルゲーム利用に対する保護者の意識、介入手動(4) —各学校段階における養育的介入手動と問題行動との関連— 日本パーソナリティ心理学会第26回大会発表論文集, 97.
- 田島祥・堀内由樹子・寺本水羽・松尾由美・坂元章（2017）. 子どものデジタルゲーム利用に対する保護者の意識、介入手動(5) —各学校段階における技術的介入手動と問題行動との関連— 日本パーソナリティ心理学会第26回大会発表論文集, 98.

松尾由美・堀内由樹子・田島祥・寺本水羽・坂元章 (2017). 子どものデジタルゲーム利用に対する保護者の意識、介入行動(6) —学校段階別の介入行動— 日本心理学会第 81 回大会, 3C-012.

田島祥・堀内由樹子・松尾由美・寺本水羽・坂元章 (2017). 子どものデジタルゲーム利用に対する保護者の意識、介入行動(7) —ゲームを通じた交流に対する意識— 日本社会心理学会第 58 回大会発表論文集, 325.

鄭姝・倉津美紗子・堀内由樹子・寺本水羽・松尾由美・田島祥・坂元章 (2018). 子どものデジタルゲーム利用に対する保護者の意識、介入行動(8) —レーティングの確認有無と子どもの適応— 日本心理学会第 82 回大会発表論文集, 84.

目 次

第 1 章 調査の目的・方法	1
第 2 章 デジタルゲームやレーティングに対する意識や知識に関する調査	10
第 3 章 子どものゲーム利用に関する家庭でのルールや教育方針に関する調査	60
添付資料：調査票詳細	123